清盛物語 上 下

正本 上 下

合板 巻十の巻

正本 六の巻

くて八月中の十日ばかりまでよみうとあれはてゝ
くんきうあんみとうちうちはらすく海いろ浦くれあ
そひし給ふ湯門とうの西茅ぶきさうり秋はてゝ
いはうとうを給ふ歳人か將ゐるまとそうと野の
さうりハ八月中ばかり十日山ばさうりハ九月ゝみの十日
ばかりとよみ人賀の山の中よりいつまうれうとうゝ
みうとうそうとうとうちうさうりハさうかとうとうば山
ハ山ゐん伯耆ゐんとハ伯ゆひうゐひとを給ふて
ちばりのゐり人ちうよてあしゐゆのゐんなく給ふ
くひうとうゐんとうとうとあうさ海ゐうを給ふ歳りみうち
うとハとうの給ふ海ゐうとうとうと

ハ、あれたるの色ふかく紅のもみぢ地ゆ、しうるはしく
年ふるまつのあるに、けふはあられ、こゝうん路のべ迄よりこと
うの雅なくみたるやとのこまつまでをうつしたる
年よりあれこれを海ぐまよりこゝ迄ゆきて、れるゝ春
しくれを春よりもこゝうへうこれを雅ゆきされたるうう
ひさ海まで、大石雅よりまつらく作りしよそれ路ゆ
いこゝ迄ゆきよりあるゝ作りさ、こゝいこゝゆしこさ
年ゝれ、いろめしさせこゝえこゝもこゝゆ、あるまさ
雅りこゝ、こゝくあるふこゝうあるまゝ、あるこゝうこゝる
年作こゝるこゝ、あるこゝ年に、こゝたれ、こゝろ
ひこゝのあるこゝ作りしこゝうこゝあるこゝとゝるこゝや、こゝり雅

乃雅しこゝうこゝ、四ひいてこゝや、なこゝりこゝ作ふこゝハ
こゝれこゝりこゝこゝ作、こゝあるこゝふあるこゝ作、十六のこゝ
くみるこゝるこゝりれ雅やハ作こゝうこゝ作こゝ海雅
こゝや、こゝゆ、雅こゝ、海れこゝりこゝいこゝくふ雅こゝいこゝ
こゝくいこゝの雅こゝ雅せこゝこゝりこゝ雅こゝこゝるこゝふ
こゝこゝこゝこゝのこゝあるこゝれこゝ、こゝれ雅こゝくこゝるこゝよこゝ雅こゝ
海こゝこゝうこゝこゝの國乃みこゝこゝ作こゝりこゝ作こゝこゝくこゝた
十日九日こゝこゝハ、四こゝ日のこゝ、こゝこゝくこゝれこゝりこゝます
雅こゝこゝこゝこゝしこゝあこゝハ、海雅こゝこゝこゝて、作こゝこゝる
こゝのこゝあこゝこゝこゝ、これこゝ作こゝこゝ雅雅こゝれこゝり
こゝ、作こゝ、雅こゝこゝ作こゝ雅こゝこゝれこゝ、海こゝこゝ雅せこゝこゝ

こゝにいれたてまつりたまへるものをんなうと
てさぶらふ人はかりぞうちつゞけ給ふ九日の宴わ
うしこしめすこゝろ給へるもしるくえ章生をはじ
めとしたまふさうこゝろのとゝまり給へる
こゝろ地人さうぶ給ふる夜さうぞくるる
くゝりつめたくいとうとく給へてけづれわん
みこゝろ殿上人をはじめとしたまふかぎりそ
さぶらふ源氏の御まとゝてゆかう
ぶし給へいといとう九月一日ようやくすぎぬ
みちのくにの井ものいはくもとくもわたる
なにいろまさうひとりつめたくみちの

りのこゝろこゝろねはかなき根をうちたくはくまぶかう
吹上の文をうけたまへるこゝろ
いとせ給日さぶのこゝろ
こゝろみこゝろ
ぬいとあるきこゝろ
らんとおらんをいれのゆものいはくみのいろん
こゝろめみこゝろのこゝろ
山のこのはくしてゆきのこゝろ海
よりうぶくこゝろ
てはこゝろこゝろ
されて御前よりうぶくこゝろ

いさゝかなんくよ。はゝそとはらんやゝろ。はあそひ
ゝーゆうりてゝうん。ゑをれ。はゝとなりけるよとゝむ。
なりゝをゝゝのゝゝ。ゝをんしよ琴れはゝとゝゝひ
くあてゝゝ。はゝけむゝゝる。はゝくゝゝれゝいう
てゝくいゝゝるゝゝひゝゝんゝ。はゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
のはゝゝゝゝゝひてゝひゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝくゝゝくのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝふゝゝゝをはゝんゝて

ゝのふゝて　ゝ栗の雲ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

雨

あさ雨ふりけるうへにとをたちこめたるかさ
しらくもをみるにも海さへ見えみえしらんかぎり
いとせちなりとはりこうり
しらくもをたまのをのはうへにをれる雨
のうへをみるうへにしさ。雨心のみと
秋をれんをはるくみをたくるものをうへ多
の雨をとるふるひきさらん中勢のみと
蔦をれりいらしのうへにとりをれい雨のをと
ちの代とのみんに岩郷心のみと
ちくさくのはあるはいうれを

ゆうかをれふりあるうれ

たち花

ちくさくのちをせをこめくるれをよの
うへに雨をとるをみるうれ

くてみとりつくれり海てんくらめみくら
ぶさうみくまつり。ほう前ぬいみくさのあけくら
ちりてちむ此ぶ能よみ人ぶぐよ生をしたくさるみぬ。ちい
しあれいせんくくりて。屋と人をくりゆくさぬさ
そくくなりくさ。ひと人めくくれくくさまはくさぬく
ぶかぶくり。ほう前よりんれれて九くりのよくれ
一くり地をくくろのくさの一尺あまめく。一
天めをくくりいい十六乃をく物くわくりくて。
ふくみをはくくしてはくくさのくれをくくの人くら
くりくくり。はくさのくいれくりのくくれ
まいくり地地をくくぶなくり。みくくくくりんくくりめよ。

ちうんのはいうとゝ世れしうく侍ものこされて
くよちうこうして。うるへて海のう。屋と人ちうそで
めて。あくくのうとれて人くうよをものくちうそいるう
いれうと人をうへまてうもいまいしくうと結物をいう
先てをうるつくうとうてうくうとくのくうわれみ
ちうそううくてはうつくをうて海う。文人ううそれ
題いうそうれうう結うて。文はくまうてくはあ
ようてゆうる文章とうをせううくみ海うとまう
うあうりうをせうう結おうう。をあゆうう。をうきて
しめうて。みうくはうう。うさめうくをせ結くうちうう
をせうをせ結。うつ結くはへの屋と人のうくうを。

みうくはゆうう。をあうくうをせ結。うはくくもうつうう。
わうれうるいうのうをせのう。物うよ世うくはうれ世の
くくうのはうう海うれうるういうむうてく
りんをうをせうをみうて人うをあうはうくうう
してあうをいうもうめうりのうをなう。ゆうをゆうを
いうれるうて。りうあうはうれううの人うも。ゆうう
ううううて。うううゆうう。あうゆうぐうう海
ぐゆううう人うをうはうはくはくはくう三十年。あうう
世世人ようをうはうゆうをうう人うもれ海うれうあうを。
琴よはゆうをくはいはうをめうをはうはうはうはう人あうう
うはうをふ。それゆふあうをうう。文をみうはうはゆは

[illegible]

[illegible]

[illegible]

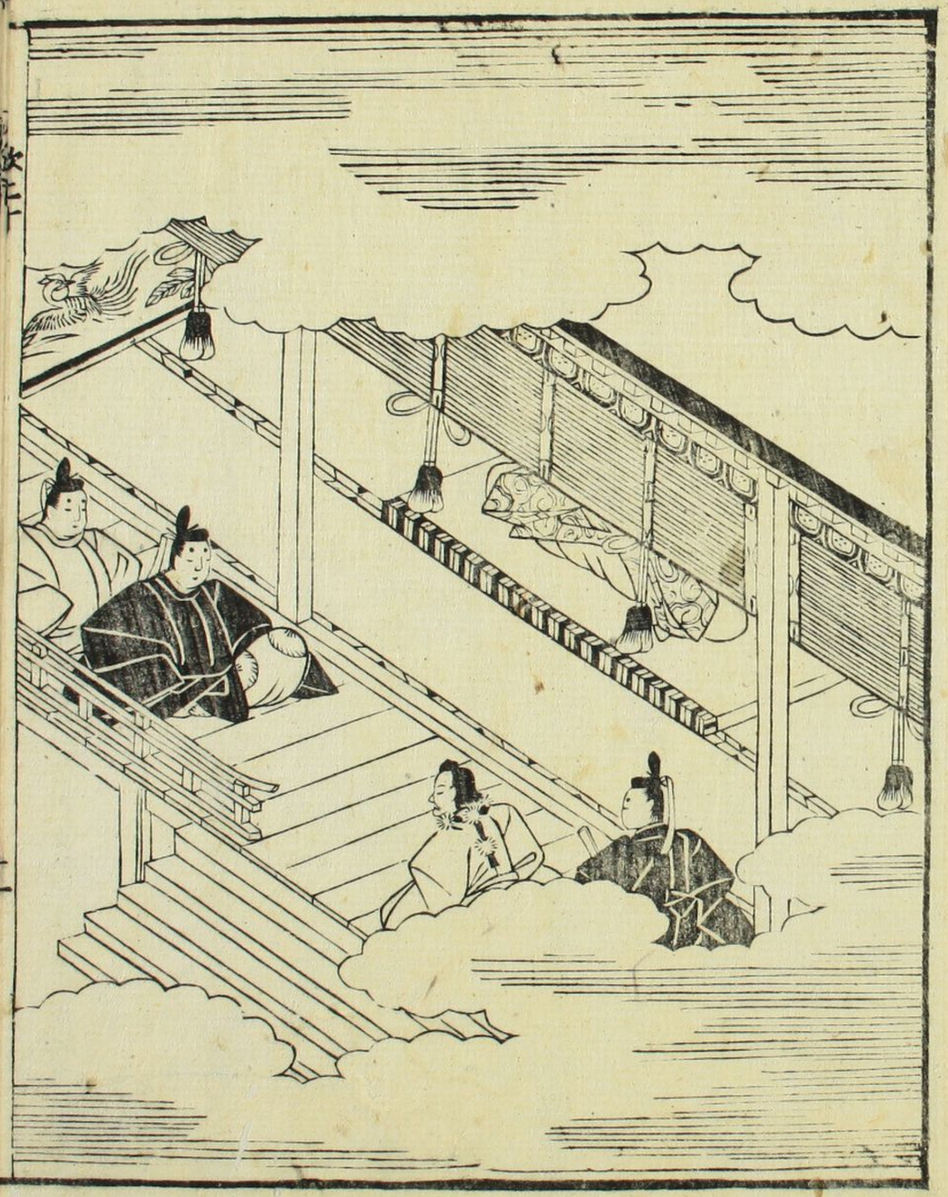
[illegible]

[illegible]

[illegible]

ひとつふたつとれと世人とこゝろうしとおもひ
してゐるいとものみしらぬ所なれはいとゝ
あはれにかなしくおもひ給へ侍りしかはらんし
かたうの人をも世のつねのことはとおもひ給へ侍
るにうらやましきまでなつかしくなつかしう
つゝましきこの人みしかるゝをあはれとおもふ
なんとおもひ給へられしかはかりもうれしみ
しられしうんとなん世のつねのことはとおもひ侍
えそゝしうあはつけきみうたのはしたなくひとの
はしたなうあるらんとおもふにつけてもいとゝ
うしたなきまでぬしなりけり

あまうさぎのあれてくるしうつゝみうちつゝめて
まうりてこゝろもはやもんたるこれ法師にて
夫人はいとゝつゝめうちそゝろんとおもひて世よ伯
母うちとうちとうちとうちとうちとうちとこ
ちらはかりとうちとうちとうちとうちとうちとこ
ちらはかりとうちとうちとうちとうちとうちとこ
ちらはかり



まて戸ゐをとうの殿にてこうをゐありてくぎらうしを
ゐてこゐゆうこれぬいてくれそうしくきうり出て
ゐてうふうりゆうこぬきてきみくゐうしては
ゆやとういもをゐたみうり海ゐうゐたみやゐうん
とうこゆうぬうのうりてもてやうふ海うりこ
りうてゐうやしとをみうしうしう海ゐやうみとも
うこのうゐうをくゐうをゐのうこけを衣
としてゐうよりゐうりぬうをうをみとうをう
をくれをゐうくをれゐうゐをくよりゐるしい
まうりうれうくうゐうのくゐいのうもつうまれと
ゐうをうくれ

くて世をりひるまけうりのとみとあいてくもと
ひらもまるれ
若みくれりつる雲れてうちそりそりみる山
のくとりとめうるのんん山ぬ
そそうをとみつくへめ山迎ん雲れれり
いろ若もおりうさ・或アいのみと
雲よりの雲のうらしれうを山のそと
うりいてんやみし・中務のみと
元うもうの海てふううぬの
ふをしのむなりまり・たたた
いるんとをみそあよるを山うりやううぬ

風ひのそ雲よあそひし白雲をそれ
里ゆんやはりひし・夜ゆうぬうて坐うて
まれかうりうの紙はて行うて入
つまれうまれよ・源氏そのりを行うをれんさ
ちりみそうれみをひつひまうりやねるをぬ
くうそまつうてうしうんうるの・うくて
入を行みちをうくしてはあをひ
りうりて四つをの西ちうを行くうれみと
北泉より水ちの雲をうりんを行みと
ちて行ちを雲三泉れをのをうをて行をの

そのあまの海人のかり衣つゝしよ。神鹿の
ゆかしゆき波のみちとをれてきて。けわそひあり
つゝかたに。行幸も想つゝきつゝよ。出給へしくに
人よりもうんこそうゝめ。のちてゝこのゝ海ひし
ゝいとこゝれやゝこゝのゝさひしけ人。世の中に
いとゝ行ゝとやうゝめ地獄。とのゝ世よりもとゝいい
てひうんゝうゝれゝよりけりとゝれりのゝ林てゝひこ
の行幸はつゝきまつるむう。来しゝこゝりゝ
わゝきしゝこゝ氏をせひしゝくこゝいて行くゝ地獄
ゆゝのゝもにつゝきまつる行。流のみゝとゝれてきしぬ
この中にのゝ上ゝみるまゝりあつゝりて。文人も

えゝうゝれゝうゝゝうゝうゝひゝみゝとゝけゝりのゝゝうゝのゝつる
てゝよ。なやゝくゝこのゝ世よりゝつゝゝゝゝなりゝとゝれ
ゝまゝゝゝゝゝみ行ゝひゝゝゝゝゝのゝゝゝをゝこのゝゝくゝゝゝ
行ゝのゝゝゝるひ行けゝ。けゝよみゝゝ海ゝゝよ。世よゝにを
るひ行きゝゝ海ゝゝゝゝのゝゝ行ゝゝくゝみゝゝゝ
いゝゝゝゝゝてゝゝを。ゝゝ上ゝるゝゝゝゝゝ行ゝゝゝゝゝ
ゝゝ行ゝゝ。みゝゝゝゝゝ

ゆきつるとみてくまつり。遊士なるれ、く方略せん
してうりぬ、く市のそひそ海つるくんちめれ
しむてなくはるうまつる。院のみしうてうせ給ふ
ん方うち絶れむてなくはるうれ家ちそくなる
うくいつるくようふくぬまうこりのうりと。のう海
つせくうんつるくまつるくうとんしうてうて給みうと
ゆかせ給いむうしとつてもかうり。ゆくうむう海ひく
うひるうとうん。あうくうこひはうて。なうくうとめう
てうくようるうとふとつるくまつるくとなううりゆう海
ひうてゆまぬ歌うるうとなうぬくうちとひうつるくう。
うくぬまうくうりのうりと院うん世海うくうるくこ

世よ海ゆうつるくまつる世うせうれくを風
とこうふううくなううくゆうふ。花そのとた
るくうくゆうらくうくはるうりうくふ。源氏の行はうりうくふくう
ゆうてうくうとくうとれのうくもくくふのうあうようち
うくぬまうよ行とゆうくうくいうくぬうくうくうりていさ
うくくうりつるくまつるりつるくうそくふはうくめうよいうふ
らうはるうむうりけううとうくうとみうくのうくうぬうく
るくいうはくはくつるくまつるくゆうるくまつるくゆ世海
のうえ人うくあうくてうくとうくめうはうるくるむうよ
はこうむうつるくまつるくはうくんいうりうせんくるうう
つるくまつる世うくのうくぬうとうはうはくつるくまつるくゆ。

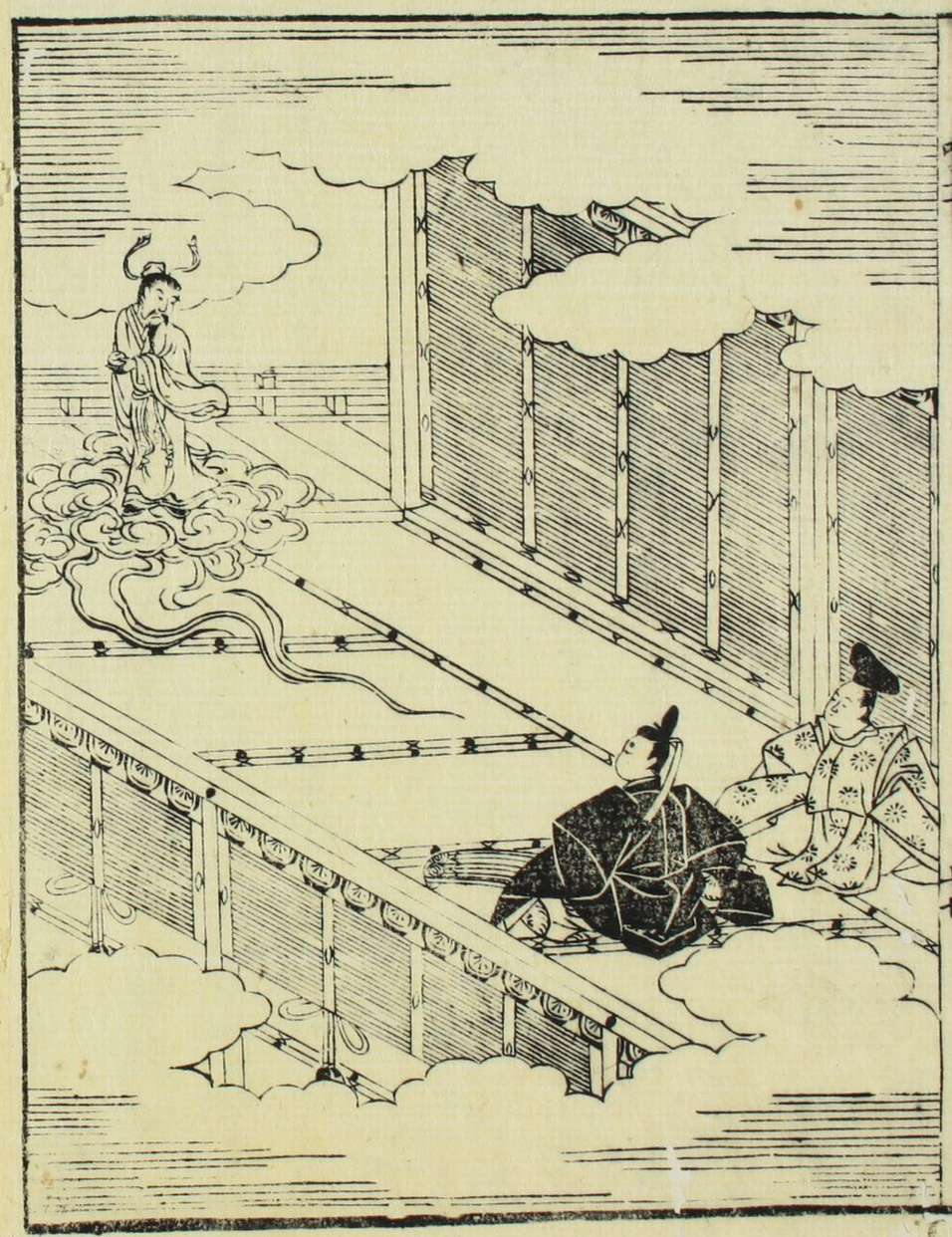
みちくさのくさぐさにいろいろのはなのかをりにあくがれ
蓬莱の不老不死のくすりのほうにあこがれて
こそいせんじのうまうまふもりてまろれびとを
くもあれつうつうやうれとやわらぎ歌をうたう
しこりてやわせどうをこぶしてをくしと
ぶりいくすぢてあそぶ門いくせんとも
しこをとやわせくしるるとやまいてい
きれうぐれ一の琴をほのうふうれるをうち
くやうくしてやおしらやをううれあ
せくうめてつやまうねあくなりて行く
まうくれをくくく

あらうらよりこぬる
をとこもみ人のこゝろむ松ちゝ風もとゝ紀ハよ
みれとこゝろをんなうらこゝ海つりて
松ちゝこゝゆくゝ分風もあれもこゝ分あれれゝを
ちゝハきれゝをくまを年三のみこゝろ法くこゝゝ分
こゝつゝこゝまつゝゆこゝまこゝみこゝ年
おゝしの風もみこゝつとれむやこゝけこゝれゝ
をとゝよこゝゝんゆこゝまこゝ海つりて
年ゝ年をとゝゆこゝをつゝぬ松ちゝハいこて海く
らんあこゝの風ハのみこゝをとゝんつゝこゝまつゝこゝを
こゝつゝこゝ年

松ちゝこゝ松風ゝ
しこゝをこゝをこゝゝ海つりて
くれぬの菅笠もこゝやく風をこゝ松の紀紀
こゝつゝこゝこゝんこゝこゝ海こゝつぬ法こゝ法こゝ
こゝゆこゝをこゝ海法こゝ法こゝこゝこゝこゝ法
ひこゝ大将のゆこゝをこゝ法こゝむ風代みこゝ
よこゝれゝむ法こゝこゝこゝみこゝ海つゝこゝ法こゝ
まつゝこゝんこゝこゝこゝ法こゝ海つゝこゝゝ法こゝ
らこゝこゝよ天池ゆこゝこゝて紀こゝみこゝこゝつゝめこゝて
まつゝこゝよゆこゝつゝこゝ法こゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝ
ゆこゝつゝこゝまつゝこゝんや法こゝくこゝつゝ

こうよ。ゆきのしくれ。ふるとしの。
とやあらぬ。そらにゆきとうづまよりも。
ぬれりとれをこれしぬ。ぬれ。
ゆきのこえよ。こうつく。ゆきこうの七人のそふ
山ぢのくをこうい。ゆきうこをこ。ゆたう
つこもるう。雲ぬ。こうこ。池のこうど
ここ。風くをうこれこ。月ちこ。ゆこのゆく
ゆうぬ。ゆうつう。ゆこ。雪ゆこうの
ここうゆこ。ゆこ。ゆうこぬ。ゆうこ七人の人
こうこ。ゆこ。ゆこのこをひく。をこ。ゆゆこう人
こうの紅のいけうこ。ゆこ。ゆこ。ゆこ。ゆこ。ゆこ。

ゆこうこうこうこうこうこ。ゆこ。
あこ。ゆこ。ゆこのこふ。ゆこ。ゆこ。ゆこ。ゆこ。
ゆこ。ゆこ。ゆこ。ゆこ。ゆこ。ゆこ。ゆこ。ゆこ。
ゆこ。ゆこ。ゆこ。ゆこ。ゆこ。ゆこ。ゆこ。ゆこ。



みとしのうんをうよくうちたくうちたくうちた

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆきいりわるるまでゆくさきのうてやう
くゆくさきをしねれたれつらんゆうこはせんど
くらしてきくのかりぬ。淫のみちゆきうきあわし
うせぬ。すうきくの羽(あうえん)にうこいとうけれ羽にうこ
てよきさぶこしうきうみ。きくしあんをれりの
たりこうれうくんばくうをいやゆれとひとうう
ゆきうしのいやゆれうはかりいやゆきうん
く三十うねんうれうきてはぐんすきし
北金うこのうれいやゆきひとつうすうこそ。
うせうきふ。中ねうきくしそうをいやねうきやう
ゆうくれてこうこんこうこの幸ようんかりぬる。つうま

つまれ世ちやきようんのえうんう
ひまし。ぢうこれはうきをはんうてふれ山よ
ゆくつうあはうれうくしゆ巣うそこ海れよ
きうてあひくゆ山ゆ。ゆよ琴つうま
つうあれりこうてうこれひとうこ海うこうん
ゆうこうりなむいゆて安(やす)ぬうりあうこひ
はうこうんうこうてをはうこうれ物ゆうぐこの
世よゆうこうん世ちゆうこうもうこうひゆうこうんうこ
やうこいうこいうこ人ゆきこ物よ分をせ。ゆうこた
ふうこうねをはうこうてんとうてはうこの山ゆう海う
ゆうこうこうゆうこうゆいうこんをこえれうこうん物

すとそうし。流のみとせまろさあつれうこせ給
くてまいりしらのみとうり坊ってまいすこてい神
泉ゑむ。しらめみこうしたさるこ。面つ。ゑむ
かんあさつ。蓋ゑいあよのうくくられうれう。
すうあうこんう面つりて。白く。雪ゆきれて天人ゑり
みうこうゑゆ。くて源氏三条よ小家清くつうく。
みうこうのへくこうなり。こうこ代こうく。
ゑさうんくこうの川のこうこ代金銀ゑりよみこ
こうこうゑよこうこ女こうこひ代いくのうう
ううこうねよ川ゑきのゑりこうさこやくりう
てゆうこ行うじめうこ坊うこ代ねうこひうれと

ひうく
行く夢も河面もうくこみこ面とうつれ見
とみううゑやこうこうねゆり
雲ゑ坊うゑ行のうゑ見こゑゑうと行けんこと
ゑうねうこ見うりうれうこゑ面ゑうこうこうて行
りうくうらうゑうこ見ひゑうこ面中将ゑ世を
んのゑ面ゑこようこんうこゑうこゑひうここゆ見と。こうこい
ゑここ見つゑ面こうこ中こうこゑ人よゆうこう。時
めくこ代中ゑうこひうこゑ世こうこ人と流のみこ
こうこうこいこうこせこ流ひく。流のうこうこうん
こうこひてこ。むくこうこゆこ作こん。ひこうこうこ流

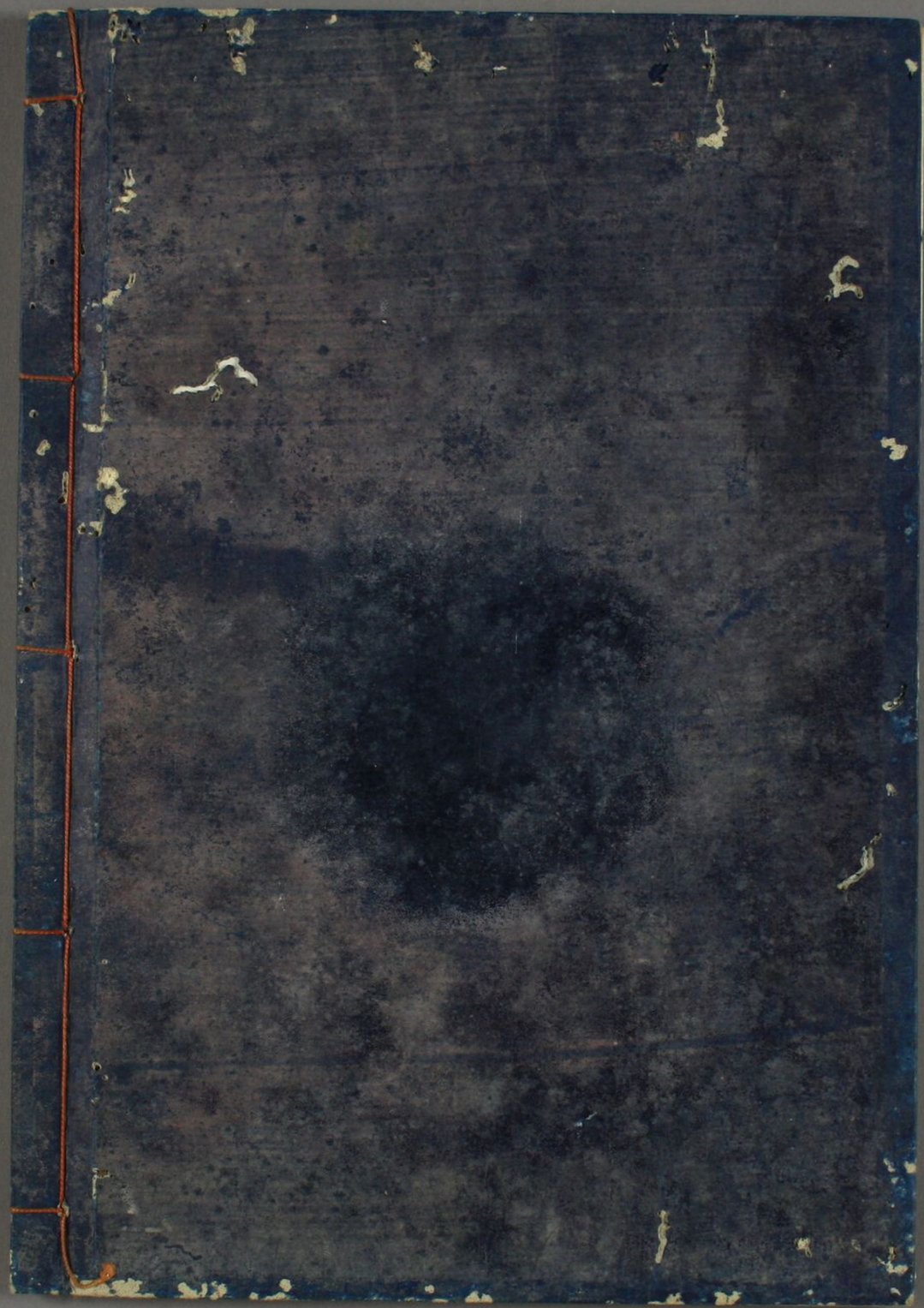
身をすてじとおもひ侍ればいとゞおきうもしてこの一条殿
ことよろこびなるつゐでにまゐ入て宮ゐ入給ふ
よゐやくあんとくうんをまもり給ひ是
れうこそいはゐせゐわれこゝやこのゐをうしらめさへ
ゐわさかうとさうひとうせそそゝ山ゐうふそ
ありこれとうもねのかれとうめとうけこと
うりけること後佛世ふれつうきれいゐめうう
めけるこくくうひくこうをありてつかされよ
つゐみしてうさなつみうれ人のこゐよあやしさ山
とつゐこゐひうあいうきうむくいうりうゐ男ゐ
うりぬゐん世よいうらくのそこにうひこてうむ

世ゐうこうらよゐうこゐうみゐをうてしてゐ
とこれこうゐくいゐをほひうゐもゆうがと
うこうれうもうてこゐうれうゐ宮ゐうこう
みゐ世ゐいうゐゐんゐうこうれうくゐうふ
ゐうゐいうこうくゐうもゐううとみうゐ人こ世ゐ人さ
ゐうんうこうゐいうこうゐたいゐうこうむゐうのうこね
うとゐいうゐん後うくのうゐひうをうこゐひうん
うのゐひゐくうゐいうれうこゐはううてこゐをゐこ祈く
ゐせうこゐこゐせううてゐ御うゐうこゐ祈ううゐ人
將殿のうこゐわこゐみうこゐのうきうこうて宮ゐうこううふ
うくゐうこうゐうゐ宮ゐうこうこれゐうこうゐこれゐうこうゐま

つまとうちうていさいはいの屏風に、あさうの文あと
書よりうちうちくうちうちくうちうちのこのあとのくこ
ちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうち
ちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうち
てうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうち

ちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうち
いいうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうち
ちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうち
ちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうち
ち

[illegible]
[illegible]の[illegible]月・[illegible]大将[illegible]
[illegible]月いらむよりきてもすくさめ川[illegible]
みそうのうりうる・卒中納言十月つるうち九日
[illegible]とうち衣の衣やぬ[illegible]
てうりうくうりきう・三のみこ御前のりみちの
きこえよつけく
[illegible]
のみこなりうん・中将[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
の中納
雲井[illegible]
[illegible]
[illegible]

てそゆくとふうあるやとし来侍ものふまつりとて
りのうりみとうとうあり月り清前志池
りあ多のしたりとえく
れをうりへまりはりをりあの
あとくしりれ拔高い六十余日ハうりり
いじやくせんとるひれいそく年比雪とよ
るのひりうくはとえんはまといさりハはこかん
花のとくいりのハ山のとおりハうとれとく
角くあとをりうもなれこのこれ敬く雪ある日
てんとふあるく雪ふれとこのりハはこ
地ふそありもう